

欧米及び日中韓の民間5G 推進団体が 「グローバル5G イベント」に関する覚書を締結

欧州最大級の ICT イベントである「ICT 2015 – Innovate, Connect, Transform(主催: 欧州委員会、期間: 10月20日～22日、場所: ポルトガル・リスボン)」の一環として開催された第5世代移動通信システム(5G)のワークショップ(会合名称: 5G Workshop between Regional initiatives、日程: 10月20日)に、下記の欧米及び日中韓の政府関係者と民間5G 推進団体の関係者が一堂に会して、5G の早期実現・普及に向けて、標準化及び周波数の観点から情報・意見交換を行った。

日本: 総務省、第5世代モバイル推進フォーラム(5GMF)¹⁾

欧州: 欧州委員会、5G インフラストラクチャ協会²⁾

米国: 連邦通信委員会(FCC: Federal Communications Commission)、4G Americas³⁾

中国: 工業情報化部、IMT-2020(5G)推進グループ⁴⁾

韓国: 未来創造科学部、5G フォーラム⁵⁾

日本からは、総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室長の中村裕治氏及び5GMF 事務局長の佐藤孝平氏(ARIB)と5GMF 企画委員会委員長代理の中村武宏氏(NTTドコモ)が、日本における5G に関する取組み状況や今後の動向等に関するプレゼンテーションを行うとともに、パネルディスカッションに参加して海外の5G 関係者と活発な情報・意見交換を行った。

このワークショップの中で、5つの民間5G 推進団体は、5G のビジョンや要求条件等について情報・意見交換を行う「グローバル5G イベント」を毎年2回持ち回りで開催することで合意し、5G 推進団体間で覚書を締結した。



グローバル5G イベントに関する覚書締結のアナウンス後の記念写真

- 1) 第5世代モバイル推進フォーラム (<http://5gmf.jp/>) は、第5世代移動通信システムの早期実現を図るため、2014年9月に設立した任意団体であり、第5世代移動通信システムに関する研究開発及び標準化に係る調査研究、関係機関との連絡調整、情報の収集、普及啓発活動等を行うことを目的にしています。
- 2) 5Gインフラストラクチャ協会 (<http://5g-ppp.eu/>) は、2013年に設立した非営利団体であり、第5世代移動通信システムの実現に向け、欧州連合のネットワーク産業の研究開発の主催、欧州での技術スキルの育成、欧州産業界の競争力増加のための製品製造ツールの提供と、これに係る欧州委員会との「5Gインフラストラクチャ構築に関する官民パートナーシップ(5G PPP:5G Infrastructure Public Private Partnership)」の契約協定の締結を行うことを主な目的にしています。
- 3) 5Gフォーラム (<http://www.5gforum.org/>) は、2013年に設立した韓国の非営利団体であり、第5世代移動通信システムにて世界のリーダーとなることを目指し、ビジョンとサービスの開発、周波数スペクトルに関する研究、技術的可能性の確認、世界的な相互協力への支援を行い、産官の架け橋となることを主な目的にしています。
- 4) 4G Americas (www.4gamericas.org) は、主要な通信サービス事業者とメーカーにより構成されている産業貿易組織であり、組織の任務は、LTE-Advanced 及びそれ以降の5G、全てのエコシステムネットワーク、サービス、アプリケーション並びにアメリカ大陸における無線接続デバイスを含んだ 3GPP ファミリーのモバイルブロードバンド技術の進歩と全ての能力を提唱するとともに、それを促進することにあります。
- 5) IMT-2020 (5G) 推進グループ (www.imt-2020.cn) は、2013年2月に、中国の3つの省庁(工業情報化部、国家発展改革委員会及び化学技術部)が合同で既存の IMT-Advanced 推進グループをベースに設立した組織であり、そのミッションは、中国の5Gテクノロジーの開発を促進するとともに、外国の企業や組織との協力関係を促進することにあります。グループのメンバーには、中国の主要なオペレータ、ベンダ、大学及び研究機関が含まれ、中国の5Gテクノロジーの研究を推進するとともに国際的な情報交換と協力を促進することにあります。